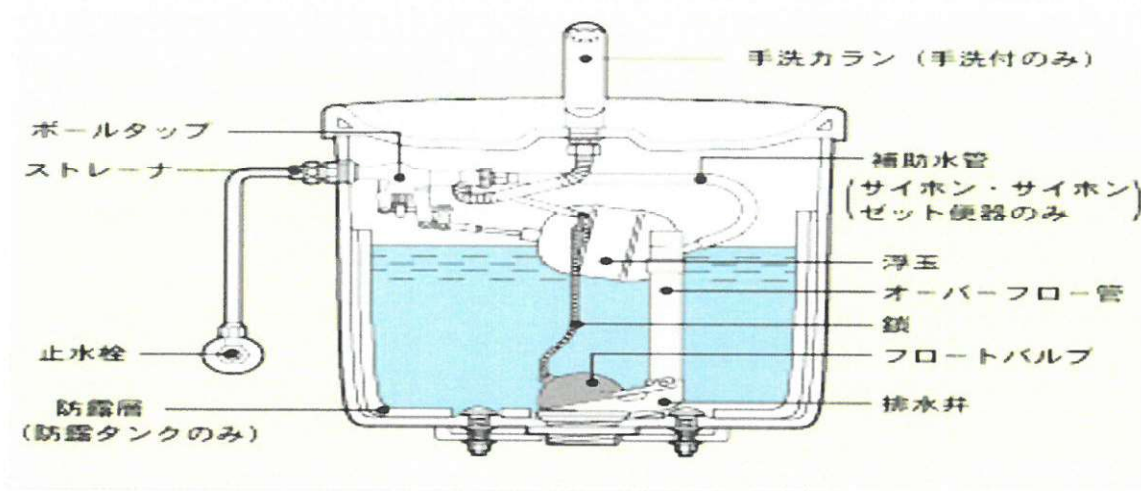


9. トイレ 止水栓・つまり除去方法



ボールタップ

浮玉が下がれば給水し、浮玉が上がれば水を止めます。

オーバーフロー管

ボールタップが故障した場合、

タンクの外へ水があふれるのを防ぐため、この管から便器へ水を逃がします。

フロートバルブ

フロートバルブの開閉により、タンク内の水を便器へ流したり、止めたりします。このフロートバルブには、レバーハンドルと連動する鎖がついています。

止水栓

修理前に水を止めたり、水の勢いを調節する役割を果たします。

急な水漏れ等の場合は慌てずに！事前に止水栓場所を確認

水が止まらないなどの症状が出て、修理するまでどうしても気になる場合は止水栓を閉めて、いったん水を止めてから修理方法を探りましょう。

止水栓を閉めずに修理作業を始めると、タンクから水があふれることがあります。トイレの修理は必ず止水栓を閉めてから行いましょう。

止水栓は、タンクへの給水管に付いています。下の図を参考に、位置を確認してください。

※ ウォシュレットが付いている場合は、ウォシュレット用の止水栓と間違えないようご注意ください。

止水栓はマイナスドライバーで右（時計まわり）にまわすと閉まります。

止水栓が見当たらない場合の対応！

ドライバー以外のもの（硬貨等）で回す際には十分ご注意ください

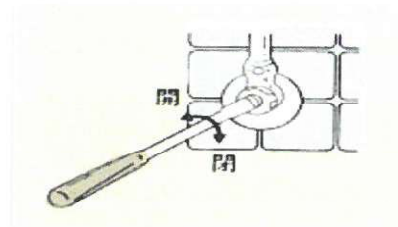
止水栓

タンクまわりに止水栓があります。

見当たらない場合は、家屋全体の元栓で閉めます。

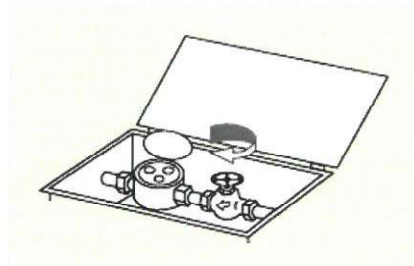
元栓は水道メーターの近くに付いていますが、

場所や形は種類や新旧によって違います。いずれも右にまわすと閉まります。



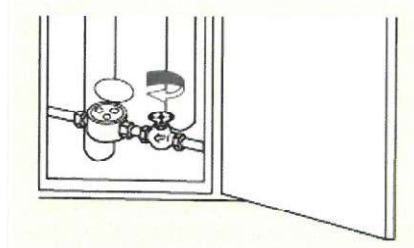
戸建住宅の場合

宅地内の地面にあります



集合住宅の場合

玄関横のパイプシャフト内にあります



反時計周りに回しますが、必ず蛇口にて水を流しながら水量を確認しながら開栓して下さい。

トイレのつまり

大量のトイレットペーパーを使ったときや、

異物を落としたことに気付かず流してしまったとき、

便器がつまってしまうことがあります。つまったものに



よっては専門の工事店さんでないと直せませんが、「ラバーカップ」という道具さえ

あれば直せる場合もあります。万に備え、ご家庭で常備されることをおすすめします。

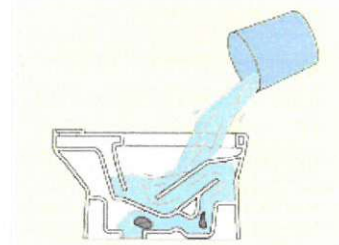
ラバーカップ（スーパー・ホームセンター・金物・薬局等で販売）

周囲に汚水が飛び散らないよう、透明のビニールシートの真ん中に穴をあけ、ラバーカップの柄を通しておきます。



便器の排水口にラバーカップを密着させ、静かに押し付け、勢いよく引きます。排水が引き込まれるまでこれを繰り返します。

つまりが取れたようなら、バケツで水を流し、スムーズに流れるかどうか確認します。このとき、いきなりタンクの水を流すと、つまりが取れていなかった場合に、便器から水があふれてしまいますので注意しましょう。



以上の作業を行っても流れが悪い、その後もつまる場合は、歯ブラシやボールペンなどの異物が残っている可能性があります。このようなものはラバーカップでは取れませんので、弊社へ依頼してください。



10. キッチン

シンク

◆天板がステンレスの場合は「もらいサビ」に注意

ステンレスはサビにくい金属ですが、釘などをステンレスに放置することによりステンレスがサビることがあります。

これが「もらいサビ」です。これは、初期の段階であれば表面的なものです。そのままにしておくと内部まで侵食されます。サビやすい金属類を長い間放置しないようにしましょう。

※ 放置された場合、退去時に費用をご請求させて頂く場合もあります。

◆こんなことにも注意

- ① 熱いフライパンなどを直接置かないでください。熱で変形・変色する恐れがあります。
- ② クレンザーや硬いブラシ類の使用は表面を傷つけるので避けてください。
- ③ ステンレスは塩素系イオンに弱いので、シンクを使っての漂白は禁止です。
- ④ 排水口には油を流さないでください。排水管の詰まりの原因となります。